

# だれひとり取り残さない防災 —「災害時ケアプラン作成」のしくみづくり—

人と防災未来センター 松川 杏寧



# 2018年7月西日本豪雨

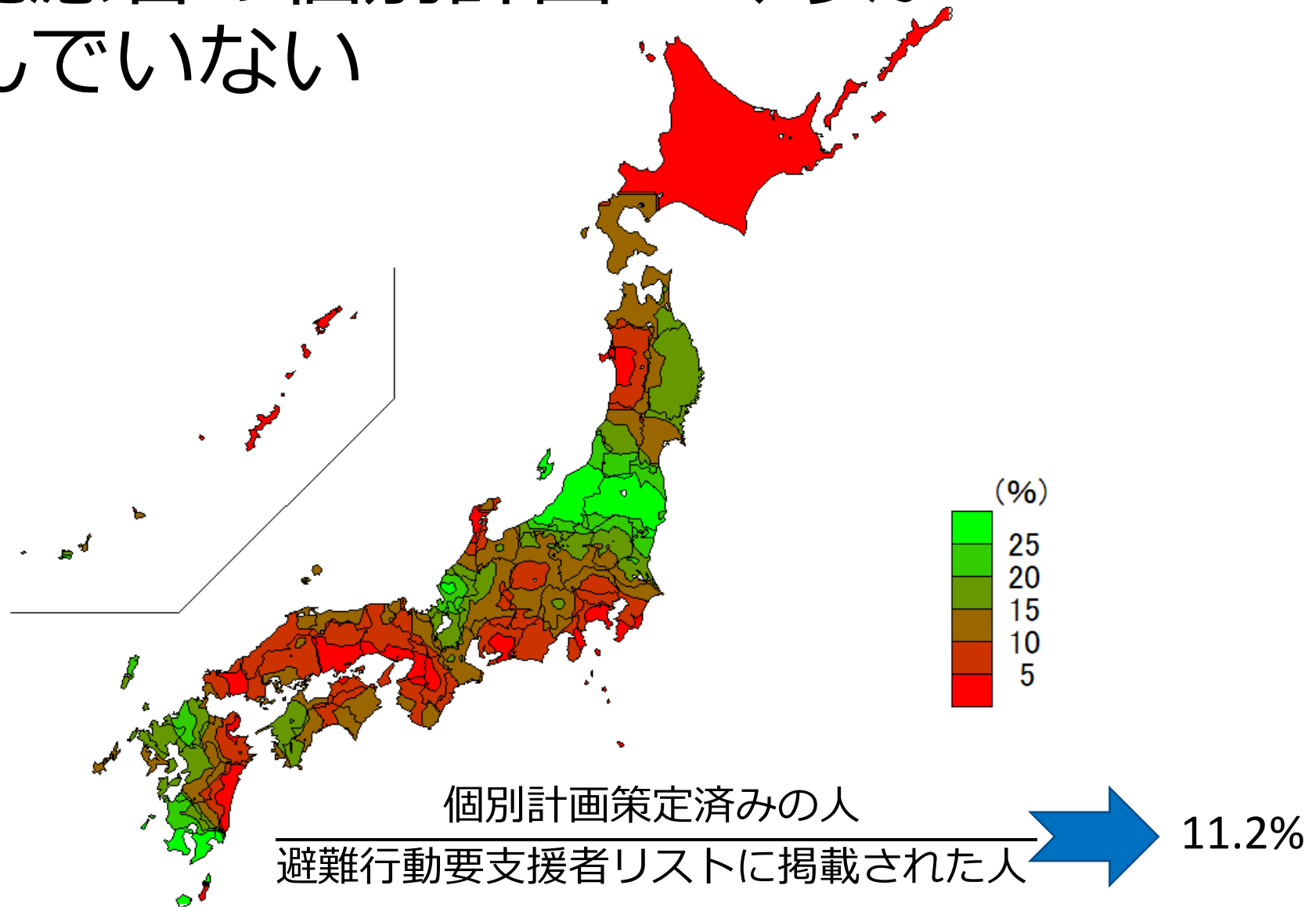
岡山県倉敷市真備町

**死者51名**（うち**42人**が避難行動要支援者）

小田川の決壊で水に覆われた真備町地区。奥は高梁川＝岡山県倉敷市で2018年7月7日、本社ヘリから加古信志撮影

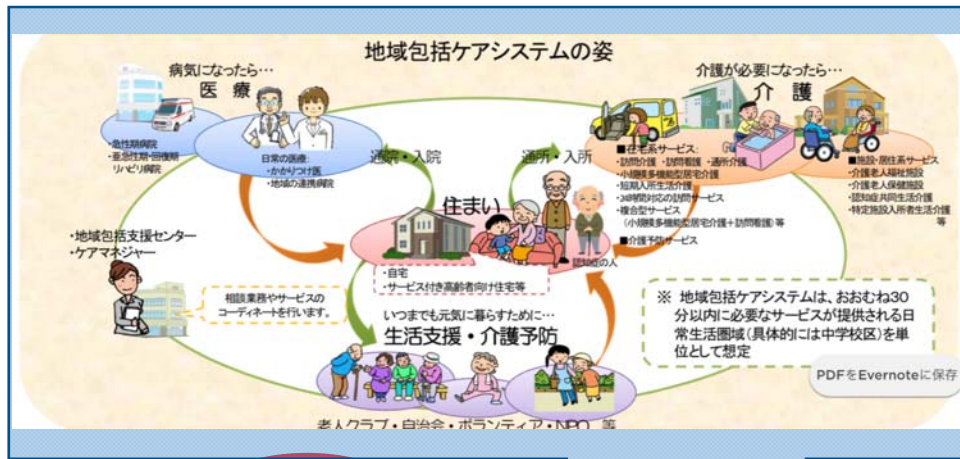
<https://mainichi.jp/articles/20180722/k00/00m/040/106000c>

# 要配慮者の個別計画づくりが進んでいない

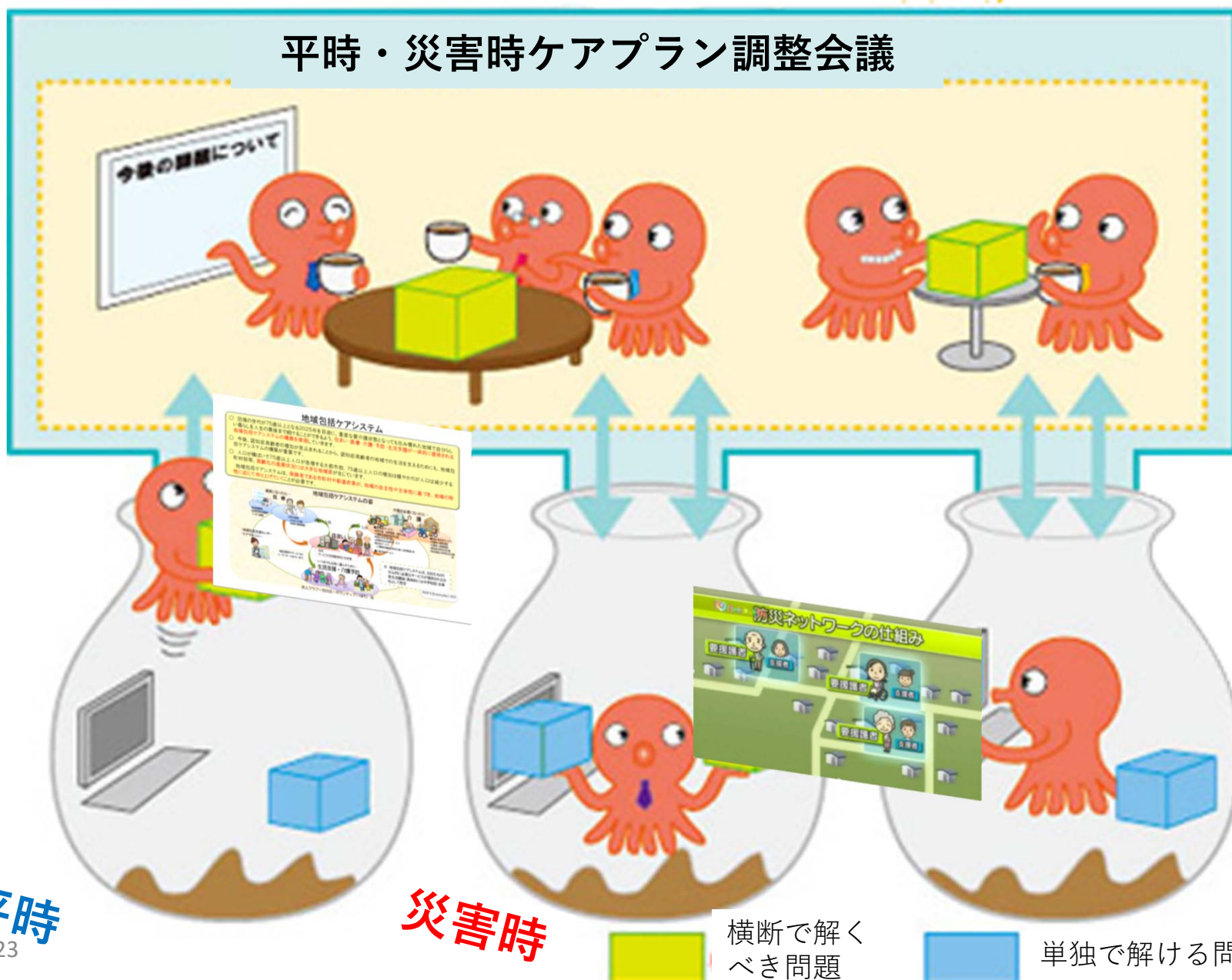


同志社大学立木研とNHKが共同で47都道府県に電話調査(2018年2月末現在)

# 根本原因：平時と災害時の対応策が縦割り

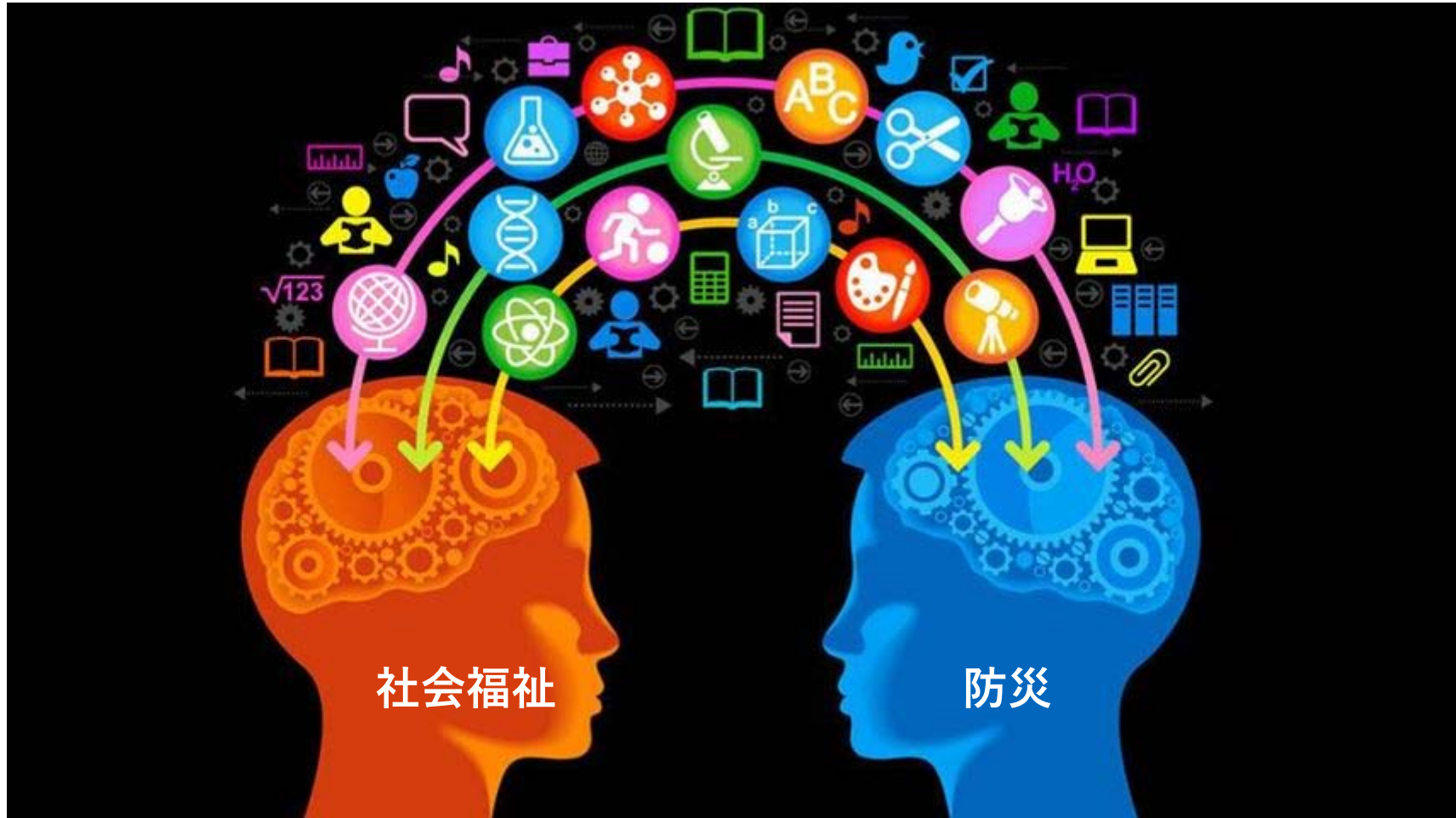


# 平時・災害時を切れ目無く連結する別府市の試み



2019/1/23

# Crossover



# 別府市での取り組みをもとにした 「災害時ケアプランコーディネーター養成研修」 開発と社会実装プロジェクト

2017年～2018年  
日本財団助成事業



ステップ①    ステップ②    ステップ③    ステップ④    ステップ⑤    ステップ⑥

当事者アセスメント

地域ケアアセスメント

災害時ケアプラン調整会議

プラン作成

プランの確認と  
個人情報共有の同意

インクルーシブ防災訓練での  
プランの検証・改善

防災リテラシー  
の確認と向上

フォーマル資源と  
インフォーマル資源

コミュニティ  
ソーシャルワーカー

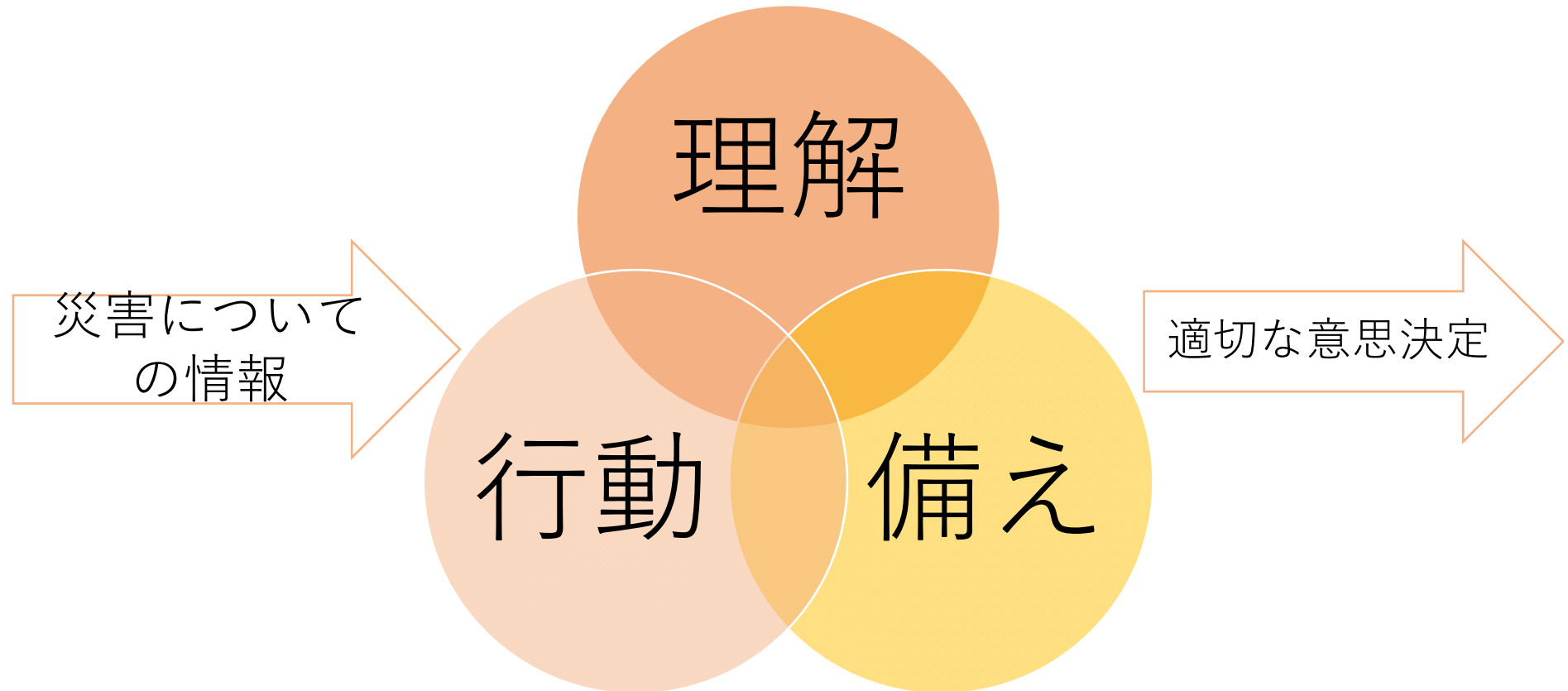
ケアマネージャー

CSWやCMを媒介に、  
当事者と地域の支援者が協働で  
災害時ケアプランを作成



# 防災リテラシーの向上が必須

災害についての情報を適切に処理する能力



# 災害時ケアプランコーディネーター 養成研修

(フルバージョン：2018年9月10・11日  
兵庫県短縮版：基礎編4回、応用編6回)

## e-learning事前個別教習



## 人と防災未来センターでのスクーリング演習



①障がいの社会モデル(DET)



②社会現象としての災害理解



③災害時ケアプラン策定の流れ



2018年10月14日  
④当事者アセスメント(硯川キット)

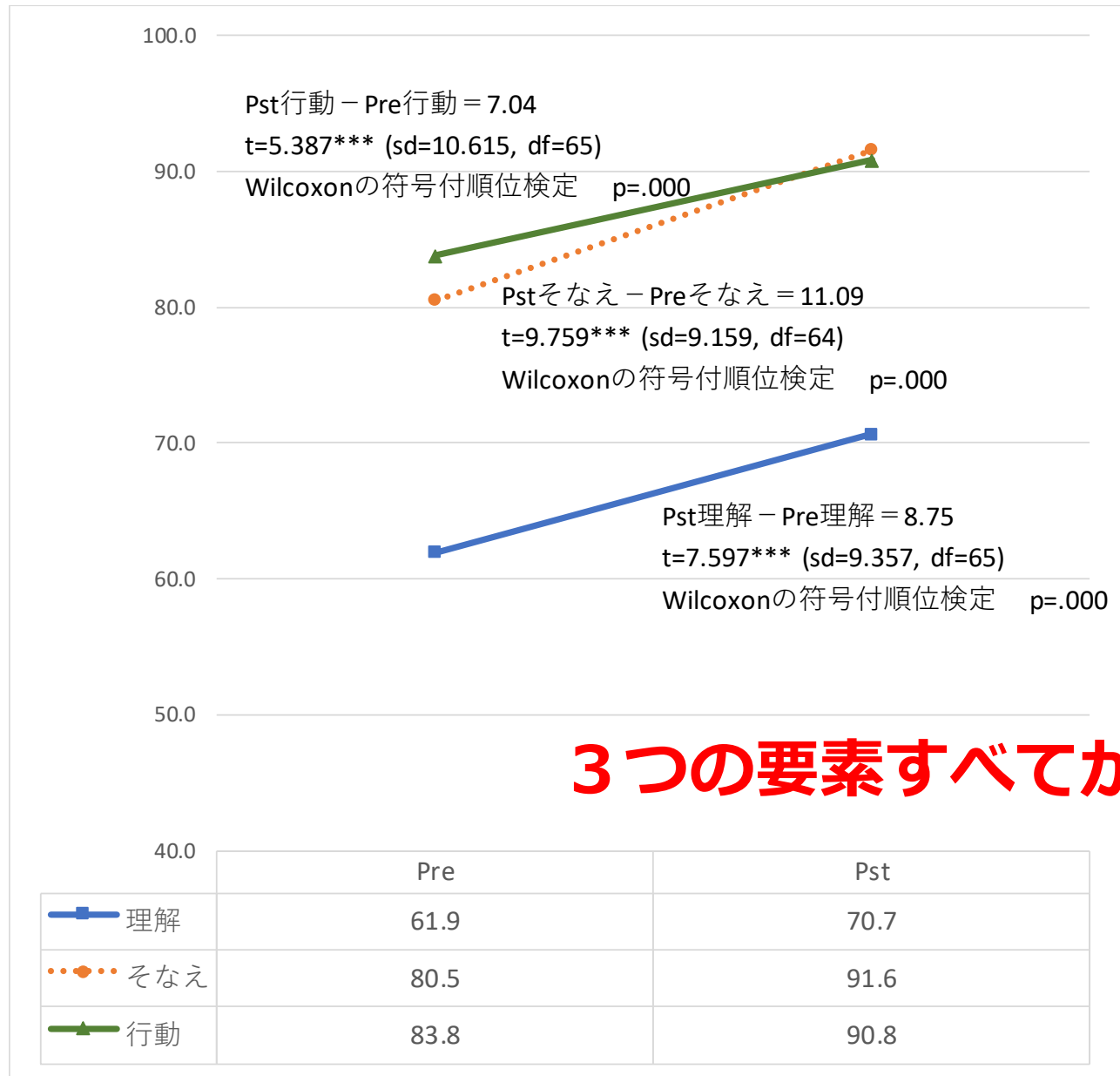


⑤災害時ケアプラン調整会議



⑥全体ふり取り

# 研修のインパクト評価のための 防災リテラシー向上検査紙による調査分析結果



**3つの要素すべてが向上！**